谷川連峰　湯檜曽川　ゼニイレ沢

2011年10月2日
メンバー：Ｌ早川、平本、新井、薄田（記）

私にとって、さがみ山友会に入会して初めての山行。天気も気温も快適であったが、ザイルを何度も出したため、ヘッデン下山となってしまった。

朝、土合橋駐車場で集合し、出発。一ノ倉沢の出会いで遡行準備。湯檜曽川を渡渉し、ゼニイレ沢に入る。ガレ場が続く。振り返ると一ノ倉がよく見える。しばらく進むと、急にルンゼとなる。ここは平本さんが左側から登り、上から確保をしてもらった。登るとホールドや足場が崩れていく。ここが一番怖かった。

その後しばらく進み二俣を右に行くと、直ぐにスラブに突入する。ぱぁっーと開けていて気持ちがいい。最初からロープを出していく。比較的容易だが、ところどころいやらしかったりもする。ザイルがないと左右に逃げたくなりそうだが、ザイルもあるので快適な場所を登っていける。あまりに快適でテラスでリードが終わるのを待っている間、岩に背を向け景色を眺めていると､落石が直撃する。きちんと上に注意していなければと気を引き締める。

スラブの終わりまで早川さん、平本さん、新井さんのリードで計10回ロープを出した。私は今まで沢で、セカンド以降で登るときもロープの中間や末端で登っていた。今回タイブロックを借りて登ったが、1 ピッチあたりの時間が比べ物にならないほど少なくて済む。それでも何回もロープを出していたので、この時点で予定より大幅に遅れている。

スラブが終わり、しばらく進むと奥壁。早川さんが左壁からリード。唯一、残置ハーケンを見かけた。

その後もいやらしいのでロープをだし、藪に突入。私はこのような藪のツメは初めてでたいへん疲れた。先頭の平本さんを見失い、ピーピーと笛を吹いていたら、後続を惑わせてしまった。本当は右に逃げるのが正解だったらしい。登山道に出た時は生還した感じがした。

下山開始直後、気が抜けすぎたのか大きく転倒してしまう。気を抜いたらいけない。その後すぐに暗くなり、白髪門からの長い下りのヘッデン下山となるが、意外と悲壮感はなく気楽だった。

今回ヘッデン下山となってしまった要因として多くザイルを出したことが挙げられる。初心者で、レベルの良く分からない私が居たので、ずっとザイルを出してくれたのだと思う。もっとザイル不要な場所については自分でも判断できるようになり、要らないと言えるようにしなければと思う。

沢としては今まで経験したことがないような沢にご一緒させていただきありがとうございました。

7:00　土合橋駐車場
8:10　入渓
8:50　二俣
9:10　スラブ入口
17:00　登山道
19:00　土合橋駐車場